

メキシコ経済は安定した成長が続いている。自動車メーカーを中心に世界の企業が積極的に進出しており、日本企業の進出も昨年10月現在で814社と、ここ数年で急増している。本特集では、メキシコ経済の現状、今後の見通しと、進出における課題を展望する。

# メキシコを支える 企業立地競争力と経済改革

一般財団法人 国際貿易投資研究所 (ITI)

客員研究員 内多 允

## GDP+2%台の安定成長

メキシコ経済の年平均経済成長率（実質 GDP の前年比成長率）は、2001年から2014年にかけては2.1%である。15年から16年における見通しについても、メキシコ中央銀行は2%台を予測しているが、その具体的な数値について相次いで下方修正を発表した。最近の例では、15年8月25日付で1.7%～2.5%に下方修正した。16年の予測も2.9%～3.9%から2.5%～3.5%に下方修正された。

各国の経済状況が不安定な様相を帯びている中で、メキシコ経済は他の新興国のような深刻な波乱要因を露呈していない。これには、メキシコにおける企業立地の国際競争力が改善されたことが影響している。これについて、ボストンコンサルティング (BCG) は14年8月に発表した“The Shifting Economics of Global Manufacturing”で、メキシコと米国が生産拠点の国際競争力を高めている実態を報告した。

同報告による14年における25カ国の生産コスト指数（米国を100）は、次のようになっている。計算方法は人件費と天然ガス代、電気代、その他（原材料費、減価償却費）の4項目を対象として、その他は一定と仮定している。その結果メキシコが91、中国は96である。米国以外の先進

国は全て100以上の数値（例えば日本111、カナダ115）である。これを比較すると、米国が先進諸国で最低水準である。一方、メキシコが開発途上諸国で最も低い数値となった。

## 成長自動車産業、密接な対米関係

メキシコ政府の貿易投資促進機関である ProMexico は14年8月2日、同国が競争力を有する業種を発表した。それは次の9業種である。①航空宇宙産業、②自動車産業、③エレクトロニクス、④再生可能エネルギー、⑤医療機器、⑥食料農産物、⑦鉱業、⑧クリエイティブ産業（ビデオゲーム）、⑨情報技術。

これらの有望業種の中で、自動車産業の成長ぶりが最も注目されている（表1）。メキシコは今や、世界の主要な自動車生産国で、乗用車生産台数（14年322万台）は世界第7位、その輸出台数（264万台）は4位である。

（表1）メキシコ乗用車：生産と輸出（単位：1,000台）

年	2010	2011	2012	2013	2014
生産台数	2,261	2,558	2,885	2,933	3,219
輸出台数	1,860	2,143	2,355	2,423	2,642

出所：メキシコ自動車工業会

メキシコの14年のGDP統計によれば自動車と同部品の生産はGDPの3%、製造業生産の